



「魅力」 どう知る どう伝える

湖西市アドバイザーボード第5回に寄せて

2016年8月～2019年7月まで中日新聞湖西支局長
湖西版ほか、日々紙面を製作



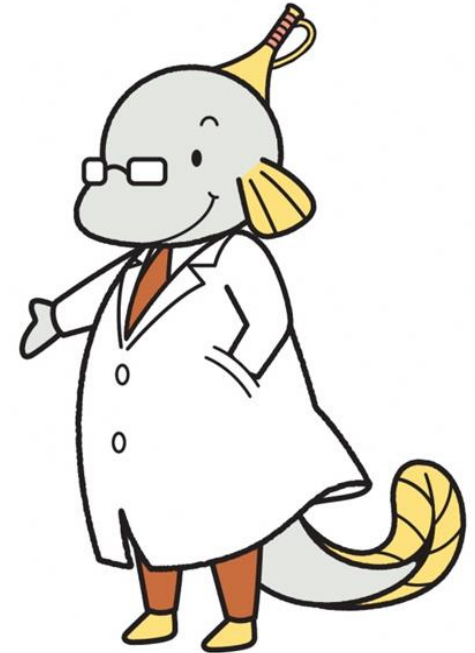
ふーちゃん
富士山から生まれた精霊
の女の子、好奇心が旺盛

取材先は
市役所、警察署、消防署の
ほか市内各施設、企業、小
中高校、幼稚園保育園、団
体、グループ…

そして1個人の方々

湖西市を知らなかった側から見る魅力

- ▶ 景色→浜名湖、湖西連峰、遠州灘
- ▶ 産業→自動車関連のほかさまざまな部品、
工作機械メーカー※職住近接も
- ▶ 施設→佐吉記念館、道の駅、
新居関所、アメニティプラザ、
運動場、海釣り公園、マリーナ



うな博士
浜松の歴史に詳しい博士お祭り好きで、頭にラッパをのせている

- ➡ 地域活動→合唱、美術、芸能、文芸、地歌伎…
- ➡ 祭り・神事→遠州新居式手筒花火、各地の手筒保存会、流鏝馬、神輿…
- ➡ 施策→花いっぱい運動、防災、国際交流



人口6万人規模の自治体で、産業、文化、観光、伝統、便利さ…

それら全てに魅力があるのは珍しい市は、市民は気付いていますか？

気付いていますか？

ハーフタイム

三年前の夏、湖西に引越し、歩いて一分の景色に息をのんだ。大きく広がる湖面と後ろの山々。北の赤い橋

らは遠く対岸まで見渡せた。夕暮れの浜名大橋のシルエットに、初冬の澄んだ空気の中で輝く湖面と紅葉。運転中に垣間見えるといつもハツとし、美しさに胸が高鳴った。

た。一方で「地元の人には浜名湖に関心がな

い」との声も聞いた。先日、転勤が決まり「最近、景色にハツとしていなかったかも」とハツとした。地元の人に近づけたのかもだが

。やっぱりこの美し

さを当たり前に思わな

いで！ 感謝の思いで

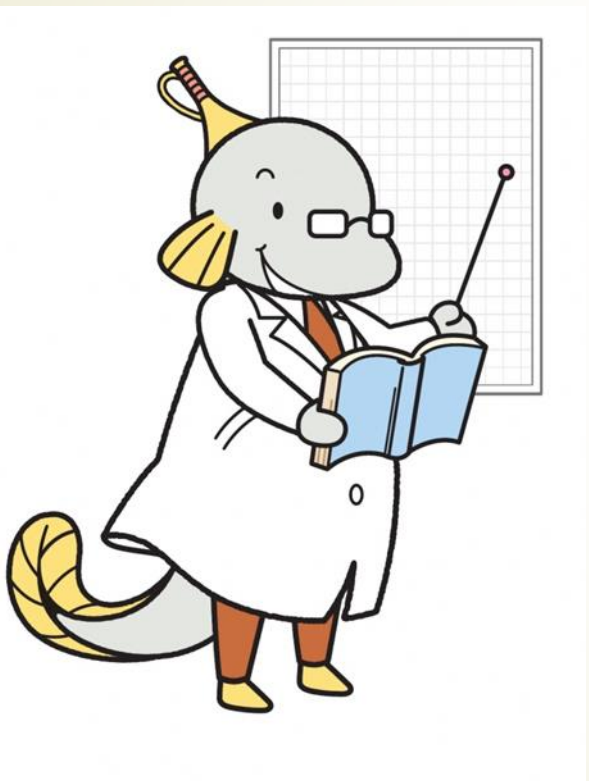
叫ばせてください。(湖

西支局・野村由美子)

忘れないで

まではっきりと見えた。有名な湖がこんなに近い。すごい所に越してきたと思った。

少し高台の小学校か



見方を変えます→私は取材する立場

- ▶市や企業は、事業をアピール
- ▶市政に関心ある市民らも積極的に接触
- ▶市内ですすめる活動をPRしたい人も
- ▶市内で頑張っている人は目立つ

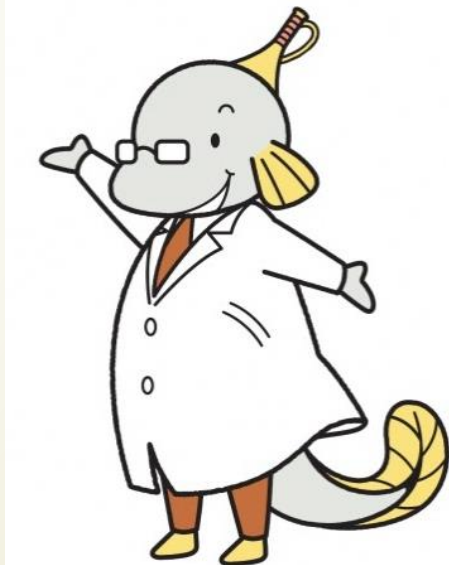


熱心でかつ魅力的に見えるのはある意味
「当たり前」→取材する市民らも市の取り
組みに関心が高い人ばかり。



- ▶ 一方で、新聞社としては、埋もれがちな声、少数の立場の声、弱い立場の声を社会に届ける責任があります。
- ▶ 何より「書いてほしい人だけでなく、書きたい人を」探す努力が不可欠

市政も似ていませんか



もう一度見方を変えます


- ▶ 「通勤に便利だから」「住宅の条件が合ったから」住む人たち
- ▶ 「市政には関心のない」市民たち



市が何をしているか、何に力をいれているか、知らない、知らなくても困らない。

知る余裕がない。地域の活動などに参加する物理的・心理的余裕もない。



- 
- 市の魅力、施策を発信、届ける相手（ターゲット）は一つではない。
 - 少数、弱い立場の人が暮らしやすい市に
 - 声はなかなか聞こえない。市の方から知ろうとしなくては。当事者に学ぶ姿勢、届かない人に届ける努力が必要。
 - このターゲット層が暮らしやすいと感じたときに湖西市の魅力、真に完成するのでは！

市と新聞社のやるべきことは似ていますね

気付いていききたいですね

ハーフタイム

湖西市の若手職員有志チームがオリジナルの婚姻届、出生届を企画、制作した。複写になっており、提出後、

ほんの小さな

一枚を手元に残せる。写真立てになる台紙も付いた残す方を見て気付いた。本来の出生届にある「嫡出かそう

でないか」を選ぶ欄は印刷されていない。婚姻届にある「再婚」「初婚」の欄も。空いた場所にはかわいいデザインが施される。

「いろいろな事情がある。あくまで誕生や結婚を祝い、記念に施してもらうことが目的なので。全ての情報を残さなくても」とリーダーの職員。保健師もい

るチームで話し合う中、決めたという。

配慮がなくても気にならない人は多いかもしれない。でも、その気遣いが届く人は必ずいると思う。救われる人もきっと。

ほんの小さな工夫を施すと決めた彼らを思い出すたび、胸がほんわか温かくなる。(湖西支局・野村由美子)

